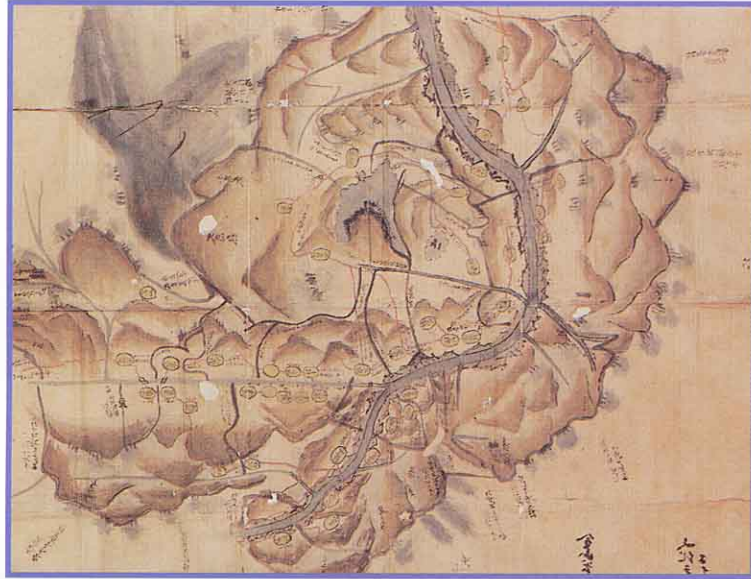


### (3) 暮らしのうつりかわり



昔の金山の地図

金山町は、江戸時代、<sup>みなみやまごりょうしょ</sup>南山御料所として江戸幕府から直接命令をうけるところで「<sup>くらい</sup>お蔵入り」とよばれていました。



50年前の川口下町

上の図にかかっている集落のようすは、明治のはじめのころまでほとんどかわっていません。

50年前でも家の数がふえたり、家の形がかわったりはしていますが、あたりのようすはあまりかわっていません。



今の川口下町

昭和31年に会津川口駅ができ、<sup>の</sup>多くの人々が<sup>お</sup>乗り降りするようになり、川口の<sup>えきまえ</sup>駅前にはぎやかになりました。